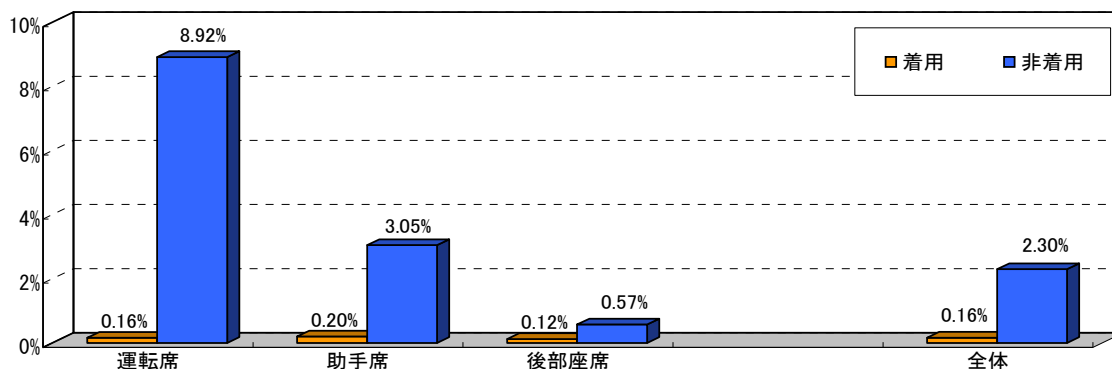


◎ シートベルト非着用者の致死率は着用者の14倍

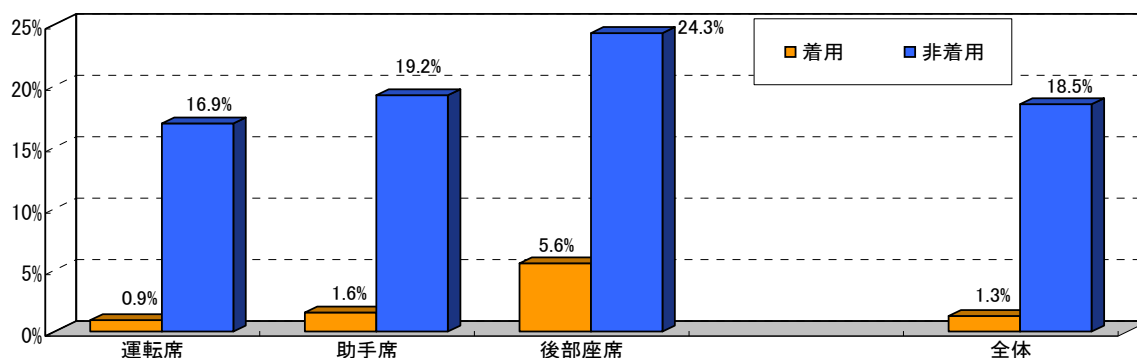
自動車乗車中のシートベルト（チャイルドシートを含む。）着用有無別の致死率をみると、非着用者の致死率は着用者の0.16%に対して14.3倍の2.30%となっており、これを座席位置別にみると、運転席：56.5倍、助手席：15.2倍、後部座席：4.8倍となっている。

自動車乗車中で車外放出（自動車乗車中の者が車内から車外へ放出された状態）になった場合の致死率は、自動車乗車中全体の致死率が0.29%であるのに対して145倍の42.14%である。自動車乗車中死者のうち、シートベルト非着用者が車外放出になった割合は、着用者の1.3%に対して14倍の18.5%であり、シートベルトの着用によって車外に放出される危険性が低くなる。

座席位置別・シートベルト着用有無別致死率（平成26年中）



座席位置別・シートベルト着用有無別死者の車外放出構成率（平成26年中）



○ 座席位置別・シートベルト着用有無別死傷者数（平成26年中）

座席位置別	着用有無別		死者数				計	致死率		死傷者数				計
	着用	非着用	着用	致死率	非着用	致死率		不明	着用	着用率	非着用	不明		
運転席	544	0.16	437	8.92	43	1,024	0.29	56.5	344,694	98.3	4,901	1,205	350,800	
車外放出	5	21.74	74	58.27	4	83	53.21	2.7	23	14.7	127	6	156	
車外放出構成率	0.9	—	16.9	—	9.3	8.1	—	—	0.0	—	2.6	0.5	0.0	
助手席	129	0.20	52	3.05	2	183	0.28	15.2	64,381	97.1	1,705	250	66,336	
車外放出	2	28.57	10	45.45	0	12	38.71	1.6	7	22.6	22	2	31	
車外放出構成率	1.6	—	19.2	—	0.0	6.6	—	—	0.0	—	1.3	0.8	0.0	
後部座席	36	0.12	107	0.57	11	154	0.31	4.8	29,830	60.1	18,646	1,168	49,644	
車外放出	2	20.00	26	28.89	1	29	28.16	1.4	10	9.7	90	3	103	
車外放出構成率	5.6	—	24.3	—	9.1	18.8	—	—	0.0	—	0.5	0.3	0.2	
その他	0	0.00	9	0.86	0	9	0.66	—	276	20.3	1,044	39	1,359	
車外放出	0	—	2	22.22	0	2	22.22	—	0	0.0	9	0	9	
車外放出構成率	—	—	22.2	—	—	22.2	—	—	0.0	—	0.9	0.0	0.7	
計	709	0.16	605	2.30	56	1,370	0.29	14.3	439,181	93.8	26,296	2,662	468,139	
車外放出	9	22.50	112	45.16	5	126	42.14	2.0	40	13.4	248	11	299	
車外放出構成率	1.3	—	18.5	—	8.9	9.2	—	—	0.0	—	0.9	0.4	0.1	

注1 シートベルト着用の有無については、事故後の聞き取り調査等による結果を基に集計したものである。

注2 「その他」とは、バスの後部座席にいる場合、バスの車内に立っている場合等をいう。

注3 致死率＝死者数÷死傷者数×100

注4 着用者率＝着用死傷者数÷死傷者数×100

注5 車外放出構成率＝車外放出死（傷）者数÷死（傷）者数×100

◎ 高速道路におけるシートベルト着用状況と車外放出の状況

自動車乗車中の致死率をシートベルト着用有無別にみると、着用者の0.50%に対して非着用者は9倍の4.70%となっている。また、自動車乗車中で車外放出になった場合の致死率は、自動車乗車中全体の致死率が0.80%であるのに対して、37倍の29.49%である。

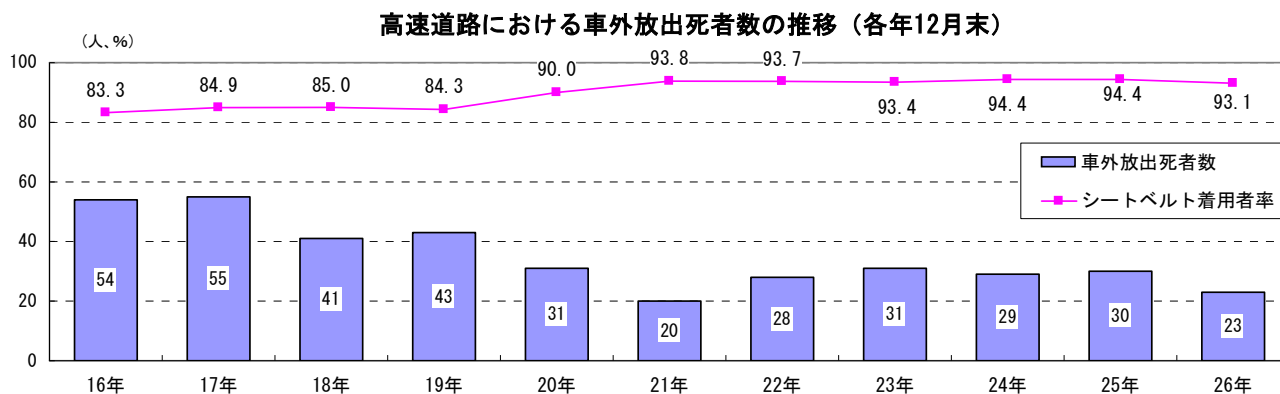
さらに、自動車乗車中死者のうち、シートベルト非着用者が車外放出になった割合は、着用者の6.0%に対して5倍の32.1%であり、シートベルト着用によって車外に放出される危険性が低くなることを示している。

過去10年間の車外放出死者数の推移をみると、シートベルト着用者率が高くなるに連れて、車外放出死者は減少しており、シートベルト着用が死亡事故抑止に効果的であることを示している。

○ 高速道路における座席位置別・シートベルト着用有無別死傷者数（平成26年中）

座席位置別	着用有無別		死者数				死傷者数					
	着用	致死率	非着用	致死率	不明	計	致死率	着用	着用者率	非着用	不明	計
運転席	64	0.62	29	16.86	6	99	0.94	10,365	98.1	172	29	10,566
車外放出	2	25.00	7	43.75	1	10	40.00	8	32.0	16	1	25
車外放出構成率	3.1	—	24.1	—	16.7	10.1	—	0.1	—	9.3	3.4	0.2
助手席	12	0.33	2	3.03	0	14	0.38	3,619	98.0	66	7	3,692
車外放出	2	66.67	2	28.57	0	4	40.00	3	30.0	7	0	10
車外放出構成率	16.7	—	100.0	—	—	28.6	—	0.1	—	10.6	0.0	0.3
後部座席	7	0.28	18	2.22	0	25	0.74	2,495	74.3	811	53	3,359
車外放出	1	33.33	7	18.42	0	8	19.51	3	7.3	38	0	41
車外放出構成率	14.3	—	38.9	—	—	32.0	—	0.1	—	4.7	0.0	1.2
その他	0	0.00	4	5.06	0	4	2.80	60	42.0	79	4	143
車外放出	0	—	1	50.00	0	1	50.00	0	0.0	2	0	2
車外放出構成率	—	—	25.0	—	—	25.0	—	0.0	—	2.5	0.0	1.4
計	83	0.50	53	4.70	6	142	0.80	16,539	93.1	1,128	93	17,760
車外放出	5	35.71	17	26.98	1	23	29.49	14	17.9	63	1	78
車外放出構成率	6.0	—	32.1	—	16.7	16.2	—	0.1	—	5.6	1.1	0.4

- 注1 致死率＝死者数÷死傷者数×100
 2 着用者率＝着用死傷者数÷死傷者数×100
 3 車外放出構成率＝車外放出死（傷）者数÷死（傷）者数×100
 4 「その他」とは、バスの後部座席にいる場合等をいう。



○ 高速道路における車外放出死者数の推移（各年12月末）

区分	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	指数
自動車乗車中死者数		258	216	205	193	142	123	133	152	158	159	142	-17	-10.7	55
車外放出死者数		54	55	41	43	31	20	28	31	29	30	23	-7	-23.3	43
車外放出死者数構成率		20.9	25.5	20.0	22.3	21.8	16.3	21.1	20.4	18.4	18.9	16.2	—	—	—
シートベルト着用者率		83.3	84.9	85.0	84.3	90.0	93.8	93.7	93.4	94.4	94.4	93.1	—	—	—

- 注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。
 2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。
 3 シートベルト着用者率＝着用死傷者数÷死傷者数（自動車乗車中）×100